

第 30 期決算公告

令和 4 年 12 月 1 日

埼玉県さいたま市中央区新中里四丁目 14 番 17 号

株式会社ジェーエステック

代表取締役社長 中尾 毅

貸借対照表

(令和 4 年 9 月 30 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科目	金額	科目	金額
流 動 資 産	333,184	流 動 負 債	241,056
現金及び預金	247,172	未払金	14,807
完成業務未収入金	11,673	業務未払金	24,981
未収入金	1,466	未払費用	9,083
未成業務支出金	65,404	未成業務受入金	122,448
前払費用	7,467	預り金	1,529
		未払消費税等	13,467
		未払法人税等	10,870
		賞与引当金	43,485
		その他	382
固 定 資 産	167,608		
有 形 固 定 資 産	141,711	固 定 負 債	17,441
建物	45,459	退職給付引当金	17,000
構築物	29	預り保証金	441
工具、器具及び備品	724		
土地	95,498	負 債 合 計	258,497
		純 資 産 の 部	
無 形 固 定 資 産	1,970	株 主 資 本	242,301
ソフトウェア	1,250	資本金	31,000
電話加入権	719	利益剰余金	211,301
投資その他の資産	23,927	その他利益剰余金	211,301
投資有価証券	52	繰越利益剰余金	211,301
出資金	10		
長期差入保証金	651	評価・換算差額等	△6
繰延税金資産	23,212	その他有価証券評価差額金	△6
		純 資 産 合 計	242,295
資 産 合 計	500,792	負債純資産 合計	500,792

付記事項

当期純利益金額 23,437 千円

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

市場価格のない株式等以外のもの

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法によっております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっております。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備に限る）については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	13～38年
構築物	15年
工具、器具及び備品	3～10年

(2) 無形固定資産

定額法によっております。

なお、ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当該事業年度末における退職給付債務を退職給付引当金として計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

収益の計上基準

完成基準を採用しております。

5. 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

6. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。